

被虐待児の働き先改革に協賛のお願い

拝啓 早春の候皆様方におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

有限会社マール様におかれましては、いつも当協会（一般社団法人 児童養護施設支援協会）の活動にご理解頂き誠に感謝しております。

ご承知のとおり当協会の活動の一つとして、被虐待児（親から虐待を受けた児童）を当協会の施設（自立援助ホーム）に受け入れ生活を援助しております。

生活に必要なものは当協会施設にて援助しておりますが、児童の自立援助に不可欠な働き先において被虐待児への社会の風はまだまだ冷たいのが現実であります。

よって、今般の社会を鑑みて当協会運営において児童たちの働き先を新設することにしました。

仕事内容としては惣菜調理になるのですが、惣菜の一つとして和歌山の誇る海の幸を取り入れたいと考えております。

そこで、御社事業の遊漁船においてお客様が不要となった鮮魚を当協会に協賛頂けないかと考え本文書を送らせて頂きました。

お客様が釣り上げた鮮魚が被虐待児の未来に繋がるということに多数の方々のご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

勝手なお願いを申し上げ誠に心苦しいのですが、どうか宜しくご検討ください。

敬具

一般社団法人児童養護施設支援協会

代表理事 尾上 伊織

